

# 探訪 新ライフスタイル

東京五輪・パラリンピック特需と訪日外国人(インバウンド)の市場拡大を狙ってのホテルラッシュが続いたが、昨年11月以降から急に京都や大阪でのホテルの空室率が目立つようになった。京都在住の東洋文化研究者、アレックス・カー氏は「観光客用に安っぽいものをつくる稚拙化は、やり始めると歯止めがきかな

## クラシックホテルのおもてなし



富士屋ホテルは「日本クラシックホテルの会」のメンバーの1つだ(神奈川県箱根町)

## 「察する」技、コロナ下で響く

ある。戦前に建てられ、建物を維持し、文化財等の認定という条件を満たした9ホテルで結成された「日本クラシックホテルの会」がある。創業1873年の日光金谷ホテルから、富士屋ホテル、万平ホテル、奈良ホテル、東京ステーションホテル、横浜のホテルニューグランド、蒲郡クラシックホテル、雲仙観光ホテル、伊東の川奈ホテルの9ホテルで構成される。ホテルニューグランドの前社長で日

順守するマニュアルはあるが、長年の蓄積から生まれ「察する」「気配を感じること」で、先んじてお客の心を読みニーズに合わせるホスピタリティーの技がある。

箱根の富士屋ホテルは2

年に及ぶ耐震補強工事で休業していたが、創業日の7月15日に再オープンした。

勝俣伸社長は「高齢のお客様を見たらつまづくことを前提に考え、瞬時に手を差し伸べるスキルを共有している」と教えてくれた。併

設されたレストランやコンベンションホール、バー、庭園、プールなど施設一つひとつにも、相手を思いやる気持ちが存在する。

新設のミュージアムに

（商い創造研究所代表 松

くなる」と警鐘を鳴らした。走り出したら止まらずに遭遇したのがコロナウィルス禍だった。いったいど

ただのホテルが世代を超えて生き続けるだろうか。そんな中、注目したいのが「クラシックホテル」で人気が和魂洋才で築き上げた

## ライフスタイル